

# 下松工業会報

令和7年7月1日 第56号

一般社団法人 下松工業会

山口県立下松工業高等学校同窓会

事務所：〒744-0074 下松市美里町4-13-1

山口県立下松工業高等学校内

TEL.0833-43-1336 FAX.0833-41-7448

URL : <http://www.kudakokai.org>

E-mail : [kogyokai@triton.ocn.ne.jp](mailto:kogyokai@triton.ocn.ne.jp)



## ご挨拶

会長 内 山 和 美  
(E49)

### 1. はじめに

日頃から一般社団法人下松工業会へのご支援ご協力を頂きありがとうございます。本年度の総会は総勢76名の出席のもと、盛大に開催できました。懇親会では、國井益男市長をはじめ、原田成光校長、元校長の村中一雄様、上田晃久様、松本理様、大田真一様他、多くの会員に出席を頂き厚く感謝申し上げます。

一般社団法人下松工業会の目的であります、「同窓会会員相互の親睦を図る」、「母校下松工業高校への支援」の取り組みと今後の展望を紹介します。

### 2. (一社) 下松工業会の事業

4月25日に新着任教諭の歓迎会、5月11日の定時総会、8月6日のボーリング大会、10月9日の七彩ゴルフ大会、12月6日の地域・企業代表者懇談会と5つの主要行事を開催しました。また、日立笠戸支部をはじめ、下松、周南、光、柳井、熊毛、東京支部において、支部総会・懇談会が実施され、同窓会員相互の親睦が図られています。さらには、女性会員によるさくらクラブも11月5日に11名の参加のもと、交流会を開催し女性会員の親睦を深めています。一方で、同窓会員への情報発信としてHPの更新、下松工業会報No.55号を作成し、7月1日付けで郵送先が確認できている9,345名に発送しました。

### 3. 母校への支援

母校行事への対応として、9月12・13日の3年生の就職面談支援・指導に9名、11月3日の母校庭木の剪定作業に11名、11月24日の下工祭での、さくらクラブ主催のお茶席に同窓会員15名、母校より女子生徒4名と男子生徒2名のお手伝いをいただき、生徒との交流を深めるとともに下工祭を大いに盛り上げることができました。

支援事業としては、全国大会へ出場の都度、体育文化活動助成金を4団体と個人13名に補助しました。その中でも、全国高等学校総合体育大会弓道男子の部で個人準優勝された化学工業科 大賀琉琥君の栄光を讃えて、栄光の碑に銘板を刻印しました。おめでとうございます。

### 4. 事務局の移転と効果

5月17日(土)工業会館の3階から工業会事務局を母校の化学実習棟2階の元高電圧室へ移転しました。学校の中に事務局を置くことで教職員や生徒の皆さんとのコミュニケーションが生まれ、同窓会が身近なものとして感じられることで同窓の繋がりが

より確かなものになると信じています。事務局訪問の際には、学校の事務室受付に備えています工業会専用の来訪者名簿に、氏名と来校時間を記入していただきスリッパに履き替えて下さい。お帰りの際には、受付で退校時間を記入願います。また、事務局の場所を示した地図を封筒並びに会報に掲載していますのでご参照ください。

### 5. 県立高校将来構想

少子化や県内人口の減少に伴い、県立工業高校の学級数を減じる計画があると聞いております。令和5年度には、今年の4月に退職されました大田真一校長先生の発案で「志願倍率1.2を目指し7本の矢を放つプロジェクト1.2」が展開されました。その矢の1本が「学校紹介動画の制作」でした。工業会から資金援助したことで県内の高校にはない斬新で素晴らしい動画が完成しました。令和6年春の志願倍率は1.22倍と目標を超えることができました。おめでとうございます。「7本の矢の中でも受験生に最も効果的であった」とのコメントも頂きました。うれしい限りです。

就職状況を見ますと、卒業者数に対して求人倍率が600～700%と高い状況です。少子高齢化が進み労働力不足が深刻化し、特に中小企業が影響を受けています。更に県内の人口が減少している中で県内での就職が多い工業高校の卒業生の貢献度は多大なものがあると考えます。旋盤部門と溶接部門両方の全国大会で上位入賞を果たしている学校は下松工業高校のものづくり部が先頭を走っていると確信しております。新しく着任されました原田成光校長先生には、継続した取り組みをお願いしたいと思っています。

### 6. 今後の見通し

近年中に(一社)下松工業会は解散となります。山口県立下松工業高等学校同窓会も「会員相互の親睦と交流を図る」と「下松工業高等学校の発展への貢献する」ことを目的に活動をしてまいります。現在、同窓会の組織委員会から答申を受けた「事業と財政運営について」理事会で議論している内容を少し紹介したいと思います。

- (1) 10年単位の節目に行う記念事業の積立金創設
- (2) 会報に代わる広報活動の推進(母校の情報処理部と連携し、SNSやオンラインツール活用)
- (3) 在校生へのキャリア支援(就職講和、求人情報、相談窓口の設置)
- (4) 学年幹事の有効活用
- (5) 企業広告掲載枠の提供や協賛企業特典の付与
- (6) イベントの多様化(囲碁、将棋、麻雀などのオンラインイベント)
- (7) 会費徴収方法の利便性向上(電子マネーやコンビニ決済)
- (8) 年会費を1,500円とし特別会費500円を加え、年間2,000円としたい。(特別会費は母校支援に限定し、贈呈式は全校生徒の前で行う)

いろいろな方々からご意見をいただきながら、検討を進めていきます。今後共、皆様のご支援、ご協力をお願いします。



## ご挨拶

山口県立下松工業高等学校

校長 原 田 成 光

この四月の異動で大田前校長の後任として、着任いたしました校長の原田成光でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この度、下松工業会会報 No.56 号の発刊にあたり、心からお祝い申し上げます。

一般社団法人下松工業会の皆様におかれましては、平素から、本校教育の振興に、物心両面にわたってご支援を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年度も、会長の内山和美様や専務理事の浅谷吉人様をはじめ下松工業会の皆様には奨学金の交付や全国大会へ出場する部への激励金、就職に向けての面接指導や学校運営協議会の運営協力、地元有志の庭木の剪定等、多面にわたり母校を支えていただきました。本当にありがとうございます。

本校は、創立以来、多くの優秀な人材を輩出し、地域社会や産業界に貢献してまいりました。同窓生の皆様が各分野でご活躍されていることは、私たち教職員にとって大きな誇りであり、励みとなっております。

今春、全日制・定時制合わせて 156 名の卒業生が新たに社会へと巣立っていきました。卒業生の 88.5% の者が就職、その内の約 9 割が県内での就職となっており、地域社会の要請に応え、産業界で活躍できる人材を育成するという責任を果たせていると感じております。今までの卒業生と同様に、企業への貢献のみならず、下松工業会のために更なる貢献をしてくれるよう願っています。

現在、本校では、時代の変化に対応しながら、次世代を担う技術者の育成に力を注いでおります。新しい教育プログラムや設備の充実を図り、生徒一人ひとりが夢を実現できるよう、全力でサポートしてまいります。

私自身、本年 3 月 29 日に大田前校長との引継ぎ後に参加させていただいた『「ものづくりのまち くだまつ」のあけぼのを語る会』から始まった本校との縁ではありますが、「ものづくりのまち下松」の一翼を担う百有余年の歴史を誇る学校として一万九千名を超える卒業生を輩出し、こうした方々が築き上げてこられた歴史や伝統の重みを痛感しているところでもあります。

前任の勤務地である美祢の地は、かつて無煙炭の最大産地であり、昭和 11 年には久原房之助翁の義兄である鮎川義介氏が山陽無煙炭株式会社を日産コンツェルン傘下に入れたこと、また、久原房之助翁を描いた「惑星が行く 久原房之助伝」を著わした古川薫氏は宇部工業高校の卒業生であり、私もそこで勤務していたことを思う時、本校での勤務が偶然ではなく必然でもあるように思えているところでもあります。

事務局の本校への移転を契機に、下松工業会が生徒にとってより身近なものとなり、卒業後も主体的に関わり、本校、下松工業会そして各支部の発展につながるよう、新たな取り組みも進めさせていただきたいと存じます。

ところで、昨年度も団体競技、個人競技そして文芸関係などにおいて、本校生徒は大いに活躍してくれました。中国大会への出場、そして、その先にある全国大会へは、登山部、ロボット研究部、バスケットボール部、弓道部、ものづくり部での旋盤および溶接、ボウリング、俳句甲子園や文芸コンクールに出場するとともに大きく活躍してくれました。本年度も、様々な大会やコンテストが行われますが、これまで以上に素晴らしい成果を上げることができるよう支援をしていきたいと思っております。

このような生徒の活躍は、生徒同士が切磋琢磨しあう中で社会を生き抜く力を育んでいることにつながっていると思えます。これまでの本校教育の良さを“不易”として残しつつも、社会や価値観の多様化に応じた“変化”を恐れることなく、不易と流行のバランスを取りながら、校是「愛と正義」のもと、山工の名にふさわしい教育活動を展開して参ります。

皆様方が築かれた歴史と伝統のもと、一人ひとりが財産となる「人財」となり、ものづくりの原点である「人づくり」に力を注いでいきたいと考えておりますので、引き続き、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

同窓会報は、皆様との絆を深める貴重な機会です。これからも、同窓生の皆様と共に、下松工業高等学校の発展に寄与できるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人下松工業会のますますの御発展と、同窓生の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



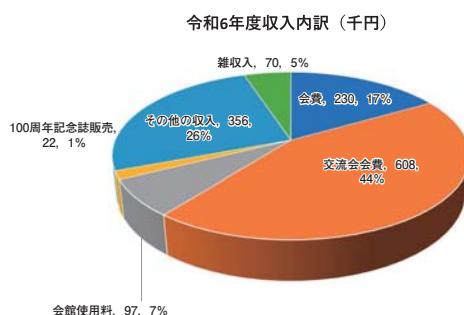
## 令和7年度 定時総会報告

日時：令和7年5月10日(土) 10時40分～  
会場：下松市下松駅南市民交流センターきらぼし館

今年度も大型連休明けの第2土曜日に、同窓会員63名（うち役員11名）参加のもとに開催されました。

開会前に母校吹奏楽部・OB・OGの皆さんによる下工行進曲、楽しい楽曲と迫力ある演奏で定時総会が盛り上がりしました。内山会長から、一般社団法人下松工業会へのこれまでの感謝と引き続いてのご協力をいただきたい旨の挨拶がありました。「令和6年度事業報告・決算」「令和7年度事業計画・予算」「母校への事務所移転・定款変更」の議案については全会一致でご承認を頂きました。

●総会資料の詳細についてはこちらへ→

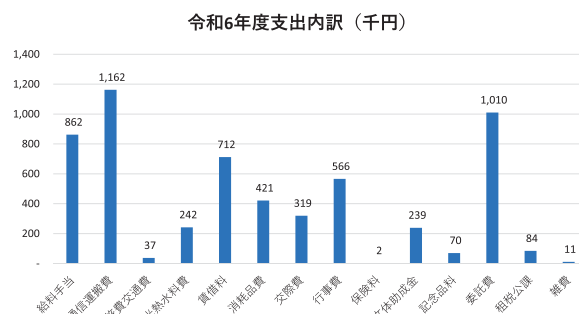


## 【懇親会】

内山会長挨拶の後、國井益雄下松市長、美祢青嶺高等学校より着任された原田成光校長より挨拶をいただき、第21代校長村中一雄様の乾杯のご発声により、総勢71名での懇親会が始まりました。この春母校を卒業された新会員1名が職場の上司とともに出席され、先輩方より温かい言葉を頂きながら和やかな雰囲気の中でひと時を過ごしていました。若い世代が気安く集えるような同窓会組織となるよう、知恵を絞って取り組んでまいります。



50数余年同窓会の拠点下松工業会館から離れるにあたり、総会終了後、有志によるお別れ懇親会を行いました。



## 定時総会・懇親会



受付の皆さん



母校吹奏楽部の演奏



内山会長挨拶



議事進行担当（光支部）



会員による質問の様子



重永東京支部長挨拶



國井市長挨拶



乾杯（村中元校長）



歓談中の会員



さくらクラブの皆さん



校歌斉唱



エール（上田元校長）

# 社会人になって思うこと

【令和6年度卒業生】

システム機械科 K.D

今年の四月に入社して、約二か月が経ちました。入社したての頃は、早く慣れなければならないという気持ちがありましたが、上司との何気ない会話や丁寧なご指導のおかげで職場の雰囲気や社会人としての生活に慣れてきました。今はまだ研修中なので、学ぶことばかりで、毎日が勉強の日々です。

この約二か月で私が特に感じたことは、「分からないことは素直に聞くこと」です。その理由として、自分の理解を深めたり、上司の方とコミュニケーションがとれたりすることができるからです。そうすることで、他者への信頼感を示すことができ、自己成長や人間関係の構築に繋がります。

最後に、私が大切にしている言葉を紹介します。それは「人間は成長する義務がある」という言葉です。この言葉は、部活動の顧問の先生が言い続けていた言葉です。この言葉を胸に日々成長し、社会人としてのスキルを身につけていきます。

システム機械科 T.K

社会人になり二ヶ月、私はずっと研修をしています。何をしているかというとは溶接をしています。アルミとアルミを繋ぐ架け橋になれるよう日々練習をしています。

充実した日々を過ごしていますが、不安がないと言えば嘘になります。どんな不安があるかというとは、将来の自分の給料は上がっているのかという不安です。最低限の仕事をこなし、年齢とともに給料を上げていこうと思っていた自分に会社の方は言いました。「この会社は仕事のできる人から給料が上がるから頑張れ」と。若くてもたくさんの給料をもらえる仕組みはとても良いことだと思いました。でも私みたいな無能はどうすればよいのでしょうか。そんなことを考えても意味がありませんね。ただ必死に頑張るだけです。

これからは自分の将来のために、ごまの擦り方や完璧な愛想笑いを練習していきたいと思っています。



# 先輩からのひと言

学校を卒業し新たな世界へ第一歩を踏み出した皆さんおめでとうございます。

ものの見方や考え方の違いに戸惑ながら、日々を過ごしている皆さんに、少しでも人生の先輩としてささやかなアドバイスをしたいと思います。

1. 仕事は貪欲に取り組む。自己成長の糧となります。
2. ミスは迷わず報告。人間誰でも失敗をすると隠すという自己防衛本能が働きます。早めの対策をとることで被害を小さくすることができます。俗にいう報告・連絡・相談です。
3. 若さに飽かせての生活は慎む。

若いことを理由に、遠慮や慎重さを欠いた行動は時と場合によっては、後で後悔することになります。

他にも社会人としての心構えや考え方があります。一つでも参考にしていただければ幸いです。皆さんの成長を楽しみにしています。

Y. A

## 育英奨学金の御礼

拝啓 早春の候 貴会におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。さて、下松工業会育英奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございました。奨学金は、学業や通学の費用などに充てさせていただきました。

おかげさまで、勉学や部活動に十分励むことができ、とても有意義な高校生活を送ることができました。

特に部活動では、卓球部に所属し、全国大会に出場することができ、とてもいい思い出できました。

卒業後は社会人として、また、下松工業高校卒業生として、社会に貢献したいと思っております。本当にありがとうございました。

末筆ながら貴会の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、略儀ながら書中にてお礼申し上げます。

敬具

令和7年3月1日

K・T



## 下工祭お茶席生徒感想文とアンケート

私がお茶席に運営で感じたことが二つあります。

一つ目は、着物を着るという体験の希少さです。私は着物を持っているのですが、それでも着物を着る機会は少ないです。ですので、着物を持っていない人や着たことがない人にもぜひ体験してほしいと思っています。さらに、お茶席の礼儀やお茶のつくり方も普段の生活では体験できないことなので、男女関係なく新鮮な体験ができると思います。

二つ目は、お客さんとの交流についてです。私がお客さんにお茶を運ぶ時、様々な人に会いました。友達や親は勿論、先生や企業の方までいらっしゃいました。ここで私は、お茶を通していろんな人になかなか体験することのないことの一助になったことについてとても嬉しかったです。そして、これからもっと多くの人にお茶を運ぶことや、楽しむ心を学んでほしいと思っています。(I・F)

お茶席では和の雰囲気がすごく、お茶席の作法について知ることができました。

はじめは気軽な気持ちで体験してみようと思いましたが、思いの外楽しくお茶についてもっと知りたくなりました。お茶を点てることは難しく手本を見ても分からず苦戦していました。けれどもそれが楽しくなりもっとやりたくなりました。姿勢や歩き方はとても難しく着物を着ていたため思うように体が動きませんでした。

上手くできていれば日本の和をもっと感じるができるのではと思いました。

また機会があればお茶席に参加したいと思える体験でした。(R・N)

今回のお茶会では、今まで経験したことのないお茶を点てるということや着物を着るということができ、日本文化に深く関わることができたと思います。

先輩方も、お茶の点て方や作法等を優しく教えて下さり、楽しく活動することができました。(Y・N)

今回は下工祭でのお茶席に参加させていただきありがとうございました。自分はこのようにお茶席に関わったことはなく、お茶やお茶菓子を運ぶ時の所作や、お茶の点て方など初めて知ることばかりで、少し不安な気持ちもありましたが工業会の皆様のおかげで落ち着いてお茶席に臨むことができました。

この機会を通じて、お茶の事やこの下松工業について理解を深める良い時間をおくることができました。(Y・S)

私は今回の文化祭で初めてお茶会と深く関わりました。初めてなのでとても緊張しましたが、何回かやっていくうちに慣れて上手く対応できました。お客さまへのお点前のお運びは上手くできましたが、試しに自分でお点前を点ててみると、手首が思ったように動かすことができずに、大人の方の手をかしってもらうことで何とかできました。

お点前をお運びすることは慣れたとしてもやはり緊張しました。結果的に、お茶席を成功させることができてとても良かったです。(K・T)

お茶席をしてお点前やお客様へのお点前のお運びなどのお茶席のお手伝いをして楽しかったです。

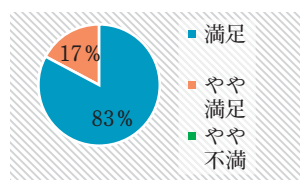
抹茶を点てるのは初めてで、うまくできるか分からなかったけどうまくできて上手と言われて嬉しかったです。ただお茶席のお客さまへのお点前のお運びは、あまり上手にできていなかったりしていたので悔しかったです。

お客様にお点前を運ぶ時、自分はかなり緊張してしまいました。ただ、こういう体験は初めてなので新鮮で良い思い出になりました。

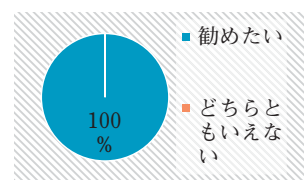
後は、お客様の前に自分が詠んだ俳句が飾ってあるのは、やっぱり恥ずかしいなと思いました。それと一年生の子二人は俳句を詠んだことがないと聞いたけど、俳句を見た時、普通に上手だなと思いましたし、自分としてはぜんぜん俳句の才能はあるなあと思いました。

改めて、お茶席のお手伝いをしてとても楽しかったです。ありがとうございました。(H・N)

お茶席運営



後輩への参加推奨



### — お茶席で披露の俳句 —

桃の実の甘い香りに包まれて	星月夜正反対の私かな	野薊や秘密基地にてアポロチョコ	教室が二階となりて長閑なり	メロンに刃入れ部屋中の夜が匂ふ	蝌蚪群るる水面奏づるラプソディー
西 袖妃	中村 麗花	福田 伊織	島村 佳希	長濱 星龍	谷村 玖竜

# 令和6年度活動状況報告

令和6年度の事業計画として、組織の充実と強化、広報活動、文化・レクリエーション行事の開催、母校支援事業の推進を掲げ、活動を実施しました。これらの活動状況について報告致します。

## 1. 文化・レクリエーション行事

### ①親睦ボウリング大会

開催日：令和6年8月6日(火)

場 所：下松スポーツセンター

参加者 21名

優 勝 関谷昌人 (M37)

準優勝 脇 利司 (E42)

3 位 中村明夫 (M54)



### ②第33回七彩会ゴルフ大会

開催日：令和6年10月9日(水)

場 所：中須ゴルフ倶楽部

参加者 65名

優 勝 宝島勝興 (M38)

準優勝 中川睦男 (C40)

3 位 林 重男 (E41)



### ③さくらクラブによる下工祭でのお茶席

開催日：令和6年11月24日(日)

場 所：母校教室

出店者 19名(さくらクラブ、本部役員)

母校生徒 6名(俳句同好会4名、女子生徒2名)



## 2. 母校生徒支援事業

### ①文化体育活動支援事業助成金交付

母校会議室にて校長立合のもと交付

団体3、個人13名

### ②栄光の碑記銘1名

全国高等学校総合体育大会弓道競技大会

男子個人2位



### ③母校就職面接練習支援

開催日：令和6年9月12日(木)、13日(金)

協力者：本部役員・OB 9名



### ④母校庭木剪定

開催日：令和6年11月3日(日)

協力者：11名(役員、あすなろ工業、さくらクラブ)



## 3. 令和6年度新会員入会式

開催日：令和7年2月28日(金)

母校体育館にて160名の新会員入会式を行いました。





## 地域支部紹介 活動状況

### ①下松支部

支部長 三牧義明

下松支部は、下松工業会の中核支部として、3月の花見の会・6月の総会・9月の月見の会を催し、会員の親睦交流に努めています。また、本部主催のボウリング大会、ゴルフ大会にも毎年参加しています。



かな乾杯で懇親会の幕を開けました。恒例のビンゴ大会の賞品は熊毛地区の地産地消とわずかながら地域貢献に努めました。熊毛在住の同窓生のみなさん気軽に参加し、楽しいひと時を一緒に過ごしませんか。お待ちしております。



### ②周南支部

支部長 久野隆弘

令和6年9月14日、総勢30名出席のもとに開催しました。恒例の豪華な賞品を目の前にして行う「じゃんけん大会」は、ひと試合ごとにドラマがあり、このためだけに参加という方も居るほどの盛り上がりでした。



### ⑤東京支部

支部長 重永裕祥

令和6年12月7日、母校校長、下松工業会会長出席のもとに下松工「今年もやるぞ！」同窓会を開催しました。年を追う毎に縮小傾向を辿っていますが、往時の思い出に楽しいひと時を過ごしています。



### ③光支部

支部長 光井秀樹

令和6年7月6日、総勢25名出席のもとホテル松原屋で光支部総会を開催しました。光井新体制のもと、光支部を大いに盛り上げていくことを誓った総会でもありました。



### ⑥日立笠戸支部

支部長 國本淳一

令和7年4月18日、総勢29名出席のもとに令和7年度総会、新入会員歓迎会を開催しました。また、新入会員歓送迎会ではこの4月に着任された原田成光校長挨拶のもとに終始和やかな雰囲気の中で交流を深めました。特に恒例の新入会員6名による自己紹介においては、社会人としての自覚が垣間見えるなど頼もしさを感じました。



### ④熊毛支部

支部長 中津井 均

令和6年7月20日、総勢21名出席のもとに開催しました。生ビールジョッキを片手に声高ら

## 母 校 だ よ り

一般社団法人下松工業会の皆様には、平素より本校の教育活動に多大なる御支援をいただき誠にありがとうございます。

令和6年度末の人事異動に伴い、11名の教職員が転退職し、新たに12名の教職員が着任しました。4月8日には147名の新入生を迎え、全校生徒と教職員一同が新たな気持ちで新年度をスタートしました。

令和2年度の新型コロナウイルスの感染拡大以降、私たちの生活は一変し、授業や行事にも多くの制限が生じましたが、令和5年5月の感染症法上の位置付け変更により、昨年度もコロナ禍前と同様な形で学校行事を実施することができました。

昨年度は記録的な猛暑に見舞われました。今年度も感染症や熱中症への対策を徹底しながら、技能の習得や資格取得に向けた学習指導、活気ある部活動やボランティア活動、豊かな人間力の育成を重視した生徒指導、そして安定した実績を継続する進路指導を推進してまいります。

それでは、昨年度の実績について報告いたします。

今春卒業した生徒の就職状況は、求人倍率8.4倍と好調で、良好な雇用情勢が継続しています。就職者数は全体の89.1%で、そのうちの89.2%の生徒が県内企業に就職しました。この成果は、先輩方の努力と実績によるものであり、心より感謝申し上げます。

毎年、進路指導の一環として実施しています同窓生の皆様による模擬面接でいただく、心構えや姿勢に関する御助言は、生徒にとって非常に有意義なものとなっています。

学習面では、技能検定や資格の取得を目指し、生徒は始業前や放課後の補講にも積極的に取り組みました。その結果、昨年度は職業技術顕彰で27名、ジュニアマイスター顕彰でゴールド9名、シルバー15名、ブロンズ17名が認定されるなどの成果を収めました。今年度も、一人一台端末などのICT機器の積極的な活用を推進し、生徒の学習意欲の向上に努めてまいります。

昨年度も部活動では、多くの生徒が全国・中国大会で活躍を見せました。運動部では、弓道部が全国高校総体男子個人の部で第2位となり、登山部も同じく全国高校総体に出場しました。また、弓道部、バスケットボール部、校外活動のボウリング競技では、国民スポーツ大会への出場を果たしました。文化部では、ロボット研究部がロボット相撲全国大会に出場しました。有志生徒が俳句甲子園に出場するなどの成果もありました。中国大会では、弓道部と登山部が第1位、ロボット研究部がロボット相撲中国四国大会で優勝しました。その他、ハンドボール部、ソフトテニス部、剣道部の個人でも中国大会に出場しました。

ものづくりでは、新居浜で開催された全国選抜高校生溶接技術競技会において第4位、「旋盤職種」でも若年者ものづくり競技大会に出場という輝かしい成績を収めました。また、中国大会でも高校生ものづくり

コンテスト「溶接部門」で第4位に入賞しました。

今年度は6月の時点で、登山部が全国高校総合体育大会へ2年連続の出場を決めています。また、弓道部、ハンドボール部、ソフトテニス部、陸上競技部、剣道部が中国大会に出場しています。

異校種間交流の一環として、昨年度も「他者を尊重できる心豊かな生徒の育成」を目指し、吹奏楽部が演奏会を通じて徳山総合支援学校との交流を深めました。今年度も文化祭などを通じて、相互理解と共感の輪をさらに広げていきたいと考えています。

昨年度、本校は地元企業と連携し、高校生ならではの視点を生かした「カーボンニュートラル・プロジェクト」に取り組み、脱炭素社会の実現に向けた提案や成果を全県に向けて発信しました。今年度も地域や地元企業との連携を一層深めながら、「やまぐち型社会連携教育推進事業」に取り組み、環境保全と地域の未来づくりに貢献できる教育活動を進めてまいります。

今年（令和7年）の5月、徳山下松港の下松地区において、日本一の水深を誇る公共栈橋が完成し、地元産業の発展に向けた新たな一歩が刻まれました。徳山下松港は山口県の産業を支える重要な海上物流拠点として、多くの資源や製品が行き交う「海の玄関口」の役割を担っています。その礎を築いたのが先見の明を持ち、地域発展に尽力された久原房之助翁です。久原翁の志を受け継ぐ本校は、地域と連携しながら技術者の育成に努め、「ものづくり」を通じて地域社会に貢献してまいりました。今後も、産業と教育が連携することで、地域の持続的な発展に向けた未来の創造を目指してまいります。

現在の下松工業高校が活気に満ち溢れた学び舎として存続できているのは、長年にわたり温かく支えてくださっている同窓生の皆様の御尽力の賜物です。私たちは、本校の歴史と精神を受け継ぎながら、新たな技術と創造力を兼ね備えた人材の育成に邁進してまいります。今後とも、変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

全日制教頭 松本 宣昭

### 野球部後援会への寄付のお願い

山口県立下松工業高等学校野球部

後援会会長 藤 井 勝  
部 長 河 野 将 弘

今年度も選手が十分な活動ができますよう野球部後援会へのご寄付をお願いします。出費多端な折誠に恐縮ですがご協力下さい。

同封の振込用紙によるお振込み、又は直接事務局（下松工業高校）へご持参頂けますと幸甚に存じます。

下松工業高校野球部後援会会費 一口1,000円

#### 野球部通信のご案内

下松工業高校のホームページをパソコン・スマートフォン等で検索頂き、【Menu→部活動→硬式野球部→野球部のページ（こちら）】に入って頂くと、『下松工業硬式野球部通信』により、最近の試合結果・活動状況や試合予定をご覧になれます。ぜひご覧下さい。



# 定時制の記録 活躍・健闘光る!!

## 【定時制通信制体育大会の成績】

- 山口県定通体育大会 令和6年6月1日  
於：維新大晃アリーナ・山口高校
  - ① 軟式野球 対戦校不在のため試合なし
  - ② 卓球 男子個人 第2位  
岩山 遥人（1年）【**全国大会出場**】  
男子団体 第3位
  - ③ 柔道 欠場
- 軟式野球 西中国大会  
下松工（山口）1－8 精華学園（広島）
- 全国高等学校定時制通信制体育大会
  - ① 卓球 令和6年7月23日～25日  
於：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館（東京）  
男子個人 岩山 遥人（1年）  
2回戦敗退



全国大会に出場した岩山君（左）



- 山口県定通体育大会 令和6年10月12日  
於：西京高校
  - ① 軟式野球 対戦校不在のため試合なし
  - ② 卓球 男子個人  
第3位 岩山 遥人（1年）  
ベスト8 武居 健晶（4年）  
藤井 浄夢（4年）  
都志見 陽大（3年）  
男子団体 2位
  - ③ 柔道 不参加
  - ④ 学校対抗4×100mリレー **優勝**  
岡田 誠真（2年） 藤永 駿斗（1年）  
山本 雅輝（3年） 松原 佑真（2年）

## 【資格取得】

- 技能検定機械検査 / 機械検査作業3級  
武居 健晶 都志見 陽大 金近 瞬 吉岡 和輝
- 機械製図検定 数野 司 武居 健晶
- 基礎製図検定 河原 鳳琉 品川 海人  
都志見 陽大 橋本 誓 村本 望 山根 麗雄
- 情報技術検定3級  
金近 瞬 松原 佑真 吉岡 和輝

- 計算技術検定3級 河原 鳳琉 品川 海人  
都志見 陽大 長井 龍輝 西村 龍介 橋本 誓  
村田 風馬 村本 望 山根 麗雄 山本 雅輝

## 【定時制通信制生活体験発表大会】

県内の定時制通信制高校の代表が、それぞれの意見や考えを発表する「定時制通信制生活体験発表大会」が9月末に下関市で行われました。本校からは、1学年の高瀬悠我さんが「定時制に入って変わったこと」というテーマで自分の考えを発表しました。

## 【ボランティア活動】

昨年に引き続き、6月と9月市内の障害者支援施設で校外ボランティア活動を6月と9月に実施しました。蒸し暑い季節でしたが、全員が時間いっぱい熱心に清掃作業に取り組みました。最後に、しょうせい苑の方々からたくさんの感謝のお言葉をいただきました。



生徒生活体験発表大会



校外ボランティア活動

## 【進路状況】

今春の卒業生は4名。県外の企業に1名就職が決まりました。3名は県内に自己就職予定です。今後の活躍に期待しています。

(R7.3.1 現在)

県内	県外	公務員	自営	その他 (含自己就職)
0名	1名	0名	0名	3名

## 【チャレンジ目標】

定時制のチャレンジ目標「クラス欠席0の日、100日」については2学年と3学年が達成しました。昼間・働き、夜・学ぶ。経験した人にしかわからない苦労があると思います。今年度は、全学年で達成できるよう頑張っています。

## 【在校生の状況】

令和7年度の生徒数は、全26名（男子26名）です。落ち着いた雰囲気での学習活動や部活動に取り組んでいます。それぞれが自己の夢や目標に向かって、学校生活を送っています。

(R7.6.1 現在)

1学年	2学年	3学年	4学年	計
6名	7名	4名	9名	26名

定時制教頭 原田 英典

## 謹んでご冥福をお祈りいたします

一般社団法人 下松工業会

正会員物故者

(令和6年4月1日～令和7年3月31日 事務局に連絡があった方のみ)

卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所
M17	戸村 勝信	横浜市	M35	川岡 善三	大島郡	C27	橋本 明	岩国市	C36	守田 隆司	埼玉県
M17	住田 栄	周南市	M37	久本 徳夫	岩国市	C27	河村 道男	兵庫県	C37	原田 拓郎	周南市
M23	武居 恒夫	下松市	M37	藤田 鎮士	下松市	C27	内山 明	広島市	C38	守友 健一	下松市
M26	岡本 昇	下松市	M37	田中 芳彦	周南市	C27	末永 一男	埼玉県	C38	兼行 日出穂	下松市
M28	山時 学	周南市	M41	田熊 悦則	田布施町	C28	山本 裕昭	三重県	C39	辻尾 和信	大阪府
M29	山下 忠夫	横浜市	M41	川原 安之	岩国市	C28	清水 明彦	三重県	C40	小林 輝道	周南市
M29	片山 忠義	柳井市	M42	赤尾 豊	姫路市	C29	岡 亮宏	廿日市市	C40	広実 秀巳	下松市
M30	宮崎 一雄	光市	M42	藤本 光雄	平生町	C29	坂本 秀雄	光市	C40	松根 繁夫	光市
M30	伊藤 幸夫	田布施町	M43	内富 伸男	周南市	C29	株本 勉	武蔵野市	C41	東 潔	周南市
M31	川野 辰巳	愛媛県	M45	神田 和仁	下松市	C29	相本 互一	下松市	C41	網永 俊彦	下松市
M31	椎木 通夫	下松市	M46	永岡 好史	下松市	C29	清水 博晴	下松市	C42	広戸 文雄	光市
M31	山田 富夫	光市	M58	工藤 貴士	愛知県	C30	長弘 智之	光市	C42	吉岡 清	平生町
M31	岡本 勝武	柳井市	MH1	原田 芳郎	柳井市	C30	柳 正二	横浜市	C42	山本 幸生	光市
M32	吉村 良人	福山市	C18	田浦 照親	茅ヶ崎市	C30	岡部 洋一	光市	C43	濱野 民男	三重県
M32	田中 英次	神奈川県	C20	大片 元彦	山口市	C33	山口京之右	千葉県	C44	大下 道則	周南市
M32	松本 豊	大島郡	C21	松永 定	周南市	C34	徳重 進	横浜市	C53	三好 敏郎	下松市
M32	鶴田 守	東京都	C21	熊谷 一雄	柳井市	C34	武居大治郎	下松市	CH7	山田 剛司	周南市
M33	黒岩 正資	神奈川県	C21	尾本 文夫	大島郡	C35	鬼武 敬二	神奈川県	E39	平野 和彦	多治見市
M33	岡本 完治	倉敷市	C22	藤井 親登	周南市	C35	富川 輝男	千葉県	E41	福本 隆	大島郡
M33	広戸 一見	下松市	C24	坂田 保男	下松市	C35	浜田 早人	兵庫県	E45	金田 和昭	下松市
M33	佐々木 正	光市	C25	渡辺 正文	愛媛県	C35	内山 正行	下松市	E58	原田 寛二	下松市
M35	原 秀顕	鎌倉市	C26	山田 進	下松市	C36	清水 義晴	下松市	T41	飯野 幸男	周南市
M35	松村 康夫	光市	C26	河杉 豊武	奈良県	C36	木村 昭夫	兵庫県	T46	加納 和好	光市

### 下松工業会 年会費・運営基金納入者 【敬称略】

令和6年度定時総会以前（4月）

E45 内山正也 M44 片山敏憲 C37 藤井通正 M21 三好メ男  
C40 同窓会 日進工業支部 トクヤマ支部

ご協力ありがとうございました。

### 褒章・受賞おめでとうございます

瑞宝単光章(秋) C53 河村則彦

瑞宝単光章(春) C46 守田宜生

法務大臣表彰 C40 武居孝雄

※次年度より受賞紹介はHPに掲載します。

## 令和7年度・8年度行事予定

- 親睦ボウリング大会：令和7年8月5日(火)  
くだまつスポーツセンタ
- 母校就職面接練習支援：令和7年9月9日(火)～11日(木)  
母校
- 第34回七彩ゴルフ大会：令和7年10月8日(水)  
中須ゴルフ倶楽部
- 母校庭木剪定作業：令和7年11月初旬  
母校
- 下工祭お茶席：令和7年11月22日(土)  
母校
- 同窓会入会式：令和8年2月27日(金)  
母校
- 令和8年度定時総会：令和8年5月16日(土)  
下松駅南市民交流センターきらぼし館

### 令和7年度支部長就任

大晃機械工業支部

E63 田村泰啓

### 編集後記

第56号をお届けします。執筆頂いた方及会員の皆様のご支援の賜物と感謝します。

さて、何年ぶりかになりますが、サイズをA4判にしてみました。誌面構成も工夫を重ねてみましたがいかがでしょうか？

我が同窓会も業務見直しによりペーパーレス化の波は避けられない状況です。歴史ある下松工業会の伝統にも配慮しながら今後も対応して参ります。

WEB関係につきましても母校のご指導を得ながらよりビジュアル化した内容に切替え、読みやすい画面に改良致します。

今後共尚一層のご協力をお願いします。  
(広報ホームページ委員会一同)

事務局より

### お知らせとお願い

#### お知らせください

私の所に会報が来ないという方がいます。  
その多くは工業会名簿に住所不明となっています。

姓名や住所変更は必ずご連絡下さい。

- ❖ 同窓生の動向
- ❖ 受章・授賞（あらゆる分野）
- ❖ 慶事、物故者
- ❖ その他